

2016 年度以前入学／人間環境学部用 再履修ガイド

（１）必修外国語科目の再履修について

2012 年度以降入学者の必修外国語の再履修方法は以下のとおりです。前年度までに、春学期科目（〇〇語 1-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語 1-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を再履修してください。**いずれの科目も必ず自分で履修登録を行ってください。**

1 年次科目	再履修する科目名	再履修方法
英語	English1-I・II English2-I・II	1 つの科目につき、下記いずれか 1 つを選択可。 ・ 4 群「選択英語」（下表 A 参照）を英語必修科目の代替として履修。 ・ 「アクティブ語学」または「テーマ別英語」を履修し、市ヶ谷基礎科目 4 群必修の英語の単位に充当（詳細は P.5 参照）。
諸外国語	ドイツ語 1-I・II ドイツ語 2-I・II フランス語 1-I・II フランス語 2-I・II ロシア語 1-I・II ロシア語 2-I・II スペイン語 1-I・II スペイン語 2-I・II	1 つの科目につき、下記いずれか 1 つを選択可。 ・ 1 年次のクラス授業を履修。 ・ 〇〇語補講 1-I・II、〇〇語補講 2-I・II を履修。 ・ 外国語選択科目を代替（ただし、フランス語 2-I・II のみ） ⇒登録番号は、登録番号は こちら から確認してください。 ※いずれの場合も春学期科目（〇〇語 1-I または 2-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語 1-II または 2-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を履修すること。
	中国語 1-I・II 中国語 2-I・II	P.3「中国語 1-I・II、中国語 2-I・II の再履修の方法について」を参照。
	朝鮮語 1-I・II 朝鮮語 2-I・II 日本語 1-I・II 日本語 2-I・II	1 年次のクラス授業を履修。

表 A ※履修希望者は、春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。

科目	種目	単位	履修 年次	開講数	開講セメスター	連続	重複
選択英語	Oral Communication I	1	2～4	2	3, 5, 7	×	×
	Oral Communication II	1	2～4	2	4, 6, 8	×	×
	English through Movies and Drama I	1	2～4	2	3, 5, 7	×	×
	English through Movies and Drama II	1	2～4	2	4, 6, 8	×	×
	TOEIC(R) I	1	2～4	2	3, 5, 7	×	×
	TOEIC(R) II	1	2～4	2	4, 6, 8	×	×
	英語検定試験対策 I（2019 年度新規開講）	1	2～4	1	3, 5, 7	×	×
	英語検定試験対策 II（2019 年度新規開講）	1	2～4	1	4, 6, 8	×	×
	Business Communication I	1	2～4	1	3, 5, 7	×	×
	Business Communication II	1	2～4	1	4, 6, 8	×	×
	ニュース英語 I（2019 年度新規開講）	1	2～4	1	3, 5, 7	×	×
	ニュース英語 II（2019 年度新規開講）	1	2～4	1	4, 6, 8	×	×

＜用語説明＞

【連続】：前年度までに履修して、単位を修得した科目をもう一度履修すること。

【重複】：同じ年度内に、同じ名前の科目を複数履修すること。

＜注意＞

- （１）「英検準備 I / II」および「Computer Assisted English Learning I / II」は 2018 年度をもって閉講しました。
- （２）2018 年度までに「英検準備 I」または「英検準備 II」の単位を修得した方は、「英語検定試験対策 I」「英語検定試験対策 II」のどちらも履修できません。

＜諸外国語＞再履修の方法

- (1) 前年度に、春学期科目（〇〇語Ⅰ）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語Ⅱ）を修得できなかった場合は秋学期科目を再履修してください。

いずれの科目も必ず自分で履修登録を行ってください。

- (2) 履修する場合は、ILAC科目時間割表で、人間環境学部クラスを選んで履修します。まずは春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。（秋学期科目のみの場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください。）

授業開始後 2 週目終了後、受講クラスが決まっていない学生は Google フォームで受付を行い個別対応します。詳細は [ILAC 学部独自掲示板](#)を確認してください。

2年次科目	再履修する科目名	再履修方法
英語	必修科目はありません。	
諸外国語	＜パターン①＞の 〇〇語 3-I・II	1つの科目につき、下記いずれか1つを選択可。 ・2年次のクラス授業を履修（自分のクラスでなくても可）。 ・4群外国語選択科目を必修科目の代替として履修（ロシア語を除く） ⇒登録番号は、こちらから確認してください。 ・＜フランス語・中国語・スペイン語のみ＞ 基礎科目時間割表より「フランス語補講 3 I/II」「中国語補講 3 I/II」「スペイン語補講 3 I/II」を探して履修してください。 ◇◆注意「中国語 3 I/II」について◆◇ 2019年度より、「中国語 3 I/II」の再履修方法は、「補講クラスを受講（「中国語補講 3 I/II」を受講）する」方法、または「『クラス授業以外で履修できる4群科目』で代替する」方法のみとなります。「クラス授業で履修する」方法では再履修できません。十分注意してください。 ※いずれの場合も春学期科目（〇〇語 3-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語 3-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を履修すること。
	＜パターン②＞、 ＜パターン③＞の 〇〇語 3-I・II 重点	ドイツ語 1つの科目につき、下記いずれか1つを選択可。 ・2年生のクラス授業を履修（自分のクラスでなくても可） ・4群外国語選択科目を必修科目に代替（ロシア語を除く）。 ⇒登録番号は、こちらから確認してください。 ・（中国語・スペイン語のみ）「中国語補講 3 I/II」、「スペイン語 3 補講 I/II」を履修。
		ロシア語 ※いずれの場合も春学期科目（〇〇語 3-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語 3-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を履修すること。
		中国語 ※いずれの場合も春学期科目（〇〇語 3-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語 3-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を履修すること。
		スペイン語 ※いずれの場合も春学期科目（〇〇語 3-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語 3-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を履修すること。
		フランス語 1つの科目につき、下記いずれか1つを選択可。 ・法・文・経営学部生と共通のクラスを履修（パターン 2・3 選択者とも共通） ・4群外国語選択科目を必修科目の代替として履修。 ⇒登録番号は、こちらから確認してください。 ・（フランス語のみ）「フランス語補講 3-I/II」を履修。
		朝鮮語 ※いずれの場合も春学期科目（〇〇語 3-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語 3-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を履修すること。
	〇〇語 4-I・II 重点 〇〇語 5-I・II 重点	1つの科目につき、下記いずれか1つを選択可。 ・法・文・経営学部生と共通のクラスを履修（パターン 2・3 選択者とも共通） ・4群外国語選択科目を必修科目の代替として履修（ロシア語を除く） ⇒登録番号は、こちらから確認してください。 ※「ドイツ語 5-I/II 重点」、「中国語 5-I/II 重点」、「スペイン語 5-I/II 重点」、「朝鮮語 5-I/II 重点」は4群外国語選択科目を必修科目の代替として履修してください。 ※いずれの場合も春学期科目（〇〇語 4-I または 5-I）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語 4-II または 5-II）を修得できなかった場合は秋学期科目を履修すること。

＜用語説明＞

【代替】：特定の科目の代わりとして履修すること。

必修科目の代替として履修した場合、各種証明書・通知書では、「〇〇語４－Ⅰ」のように必修科目の科目名で表示されます。

(例) Oral Communication Ⅰを履修し、English1-Ⅰに代替した場合

→各種証明書・通知書では、「English1-Ⅰ」と記載され４群必修の単位となります。

Oral Communication Ⅰを履修し、English1-Ⅰに代替しない場合

→各種証明書・通知書では、「Oral Communication Ⅰ」と記載され４群選択の単位となります。

【充当】：科目を限定せずに必修として必要な単位数を充足すること。

充当科目は、各種証明書・通知書ではそのままの科目名で記載されます。

(例)「英語Ⅰ（４群必修）」を履修し、４群必修の単位に充当した場合

→各種証明書・通知書には、「英語Ⅰ（４群必修）」と記載され４群必修の単位となります。

＜中国語１－Ⅰ・Ⅱ、中国語２－Ⅰ・Ⅱの再履修の方法について＞

「中国語１－Ⅰ」「中国語１－Ⅱ」「中国語２－Ⅰ」「中国語２－Ⅱ」のいずれかを再履修する場合は、以下のパターンにしたがって受講してください。中国語１－と中国語２－はリレー方式で授業を行うため、このパターンに合わない方法で受講すると、試験などで不利になることがあります。

■中国語の単位修得状況と再履修パターンの対照表

自分の単位修得状況が以下のどれに当てはまるかをよく確認して、A～Hのうち該当するパターンで受講してください。

↓たて方向に見て、自分がどのパターンなのか確認してください。↓

「－」は単位修得済み(合格)、「再履」は単位未修得(不合格＝再履修)

中国語１－Ⅰ(春学期)	－	－	－	再履	－	再履	－	再履	－	再履	再履	再履	再履	－	再履
中国語１－Ⅱ(秋学期)	－	－	再履	－	－	再履	再履	－	再履	－	再履	再履	－	再履	再履
中国語２－Ⅰ(春学期)	－	再履	－	－	再履	－	再履	－	－	再履	再履	－	再履	再履	再履
中国語２－Ⅱ(秋学期)	再履	－	－	－	再履	－	－	再履	再履	－	－	再履	再履	再履	再履
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
再履修のパターン →	A	B	A	B	C	C	C	C	D	E	F	G	F	G	H

(次ページへ続く)

■再履修の方法（A～Hパターン）

A	秋学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講 秋学期に『中国語補講』を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する◆<u>クラス授業以外で履修できる 4 群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号</u>で登録すること。
B	春学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講 春学期に『中国語補講』を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する◆<u>クラス授業以外で履修できる 4 群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号</u>で登録すること。
C	春学期、秋学期ともに『中国語補講』を受講 春学期、秋学期ともに『中国語補講』を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する◆<u>クラス授業以外で履修できる 4 群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号</u>で登録すること。
D	秋学期にクラス授業で受講 クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている「中国語1-Ⅱ」と「中国語2-Ⅱ」の組み合わせを選び、受講する(自分のクラスでなくても可)</u>。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム(「お知らせ」)で教員より通知します。 例) 1年 A～F 組の「中国語1-Ⅱ」を受講する場合は「中国語2-Ⅱ」も1年 A～F 組の授業を受講する。
E	春学期にクラス授業で受講 クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている「中国語1-Ⅰ」と「中国語2-Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する(自分の学部・クラスでなくても可)</u>。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム(「お知らせ」)で教員より通知します。 例) 1年 A～F 組の「中国語1-Ⅰ」を受講する場合は「中国語2-Ⅰ」も1年 A～F 組の授業を受講する。
F	春学期はクラス授業で受講、秋学期は『中国語補講』を受講 <春学期>クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている「中国語1-Ⅰ」と「中国語2-Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する(自分のクラスでなくても可)</u>。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム(「お知らせ」)で教員より通知します。 例) 1年 A～F 組の「中国語1-Ⅰ」を受講する場合は「中国語2-Ⅰ」も1年 A～F 組の授業を受講する。 <秋学期>「中国語補講」を受講する。履修登録は、春学期初回授業に出席し受講許可を得た授業について、修得したい科目に該当する◆<u>クラス授業以外で履修できる 4 群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号</u>で登録すること。
G	春学期は『中国語補講』を受講、秋学期はクラス授業で受講 <春学期>「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する◆<u>クラス授業以外で履修できる 4 群諸外国語選択科目・補講科目・重点科目の登録番号</u>で登録すること。 <秋学期>クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている「中国語1-Ⅱ」と「中国語2-Ⅱ」の組み合わせを選び、受講する(自分のクラスでなくても可)</u>。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム(「お知らせ」)で教員より通知します。 例) 1年 A～F 組の「中国語1-Ⅱ」を受講する場合は「中国語2-Ⅱ」も1年 A～F 組の授業を受講する。
H	春・秋学期ともにクラス授業で受講 <春学期>クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている「中国語1-Ⅰ」と「中国語2-Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する(自分のクラスでなくても可)</u>。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム(「お知らせ」)で教員より通知します。 例) 1年 A～F 組の「中国語1-Ⅰ」を受講する場合は「中国語2-Ⅰ」も1年 A～F 組の授業を受講する。 <秋学期>クラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている「中国語1-Ⅱ」と「中国語2-Ⅱ」を選び、受講する(自分のクラスでなくても可)</u>。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム(「お知らせ」)で教員より通知します。 例) 1年 A～F 組の「中国語1-Ⅱ」を受講する場合は「中国語2-Ⅱ」も1年 A～F 組の授業を受講する。

※ただし「中国語 1-Ⅰ / Ⅱ (補講)」は学部指定があるので、市ヶ谷基礎科目時間割表で指定のクラスを確認し、受講して下さい。
(「中国語 2-Ⅰ / Ⅱ (補講)」には学部指定はありません。)

(2)「アクティブ語学」と「テーマ別英語」について

学部専門科目であるスキルアップ科目中の「アクティブ語学」(実践的な会話の授業)ならびに「テーマ別英語」(英語で学部内の分野について学ぶ授業)は、履修登録時に指定すれば、市ヶ谷基礎科目 4 群 (英語) の単位に充当することができます。

1)1～4 年次で「アクティブ語学」と「テーマ別英語」の両方を履修することもできます。

2)「アクティブ語学」と「テーマ別英語」は、市ヶ谷基礎科目 4 群 (英語) の単位に充当することができます。

- ・1～3 年次までに履修登録時に指定した場合のみ、2 単位まで 4 群必修英語の単位に充当できます。

- ・1～4 年次までに履修登録時に指定した場合のみ、6 単位まで 4 群選択英語の単位に充当できます。

3)履修希望者は、学習支援システムを通じて担当教員より履修の許可を得てください。許可された場合に登録できます (許可なく登録した場合は、登録無効となる場合があります)。

4)テキストは、担当教員より履修の許可を得てから購入してください。

市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) (2011 年度以前入学者)

4 群には、必修外国語と選択外国語があります。必修外国語 8 単位は卒業所要単位です。再履修対象者は、学部窓口へ問い合わせてください。